



文化財復元研究成果公開

湯島聖堂本尊孔子像

彩色復元特別展

「聖堂ゆかりの狩野派絵画」

2000年、筑波大学附属図書館より

狩野探幽筆「野外奏楽・猿曳図」屏風をはじめとする

江戸前期の美術品が多数発見されました。

これらは、筑波大学の起源ともいえる湯島聖堂に

飾られていたものであり、以後、筑波大学では日本における

儒教美術およびそれらの復元に関する研究を主導してきました。

このたび、湯島聖堂大成殿孔子像の彩色復元が完成し、

オリジナルの鮮やかな造形がよみがえりました。

この彩色復元像を中心に、筑波大学が所蔵する

湯島聖堂・昌平坂学問所伝来の

美術資料ならびに復元研究の成果を一般公開します。

*本復元研究は、科学研究費 基盤研究により行われました。

【主な展示品】

- ・湯島聖堂大成殿孔子像 彩色復元像
- ・狩野探幽筆「野外奏楽図・猿曳図」屏風
- ・狩野尚信筆「剡溪訪戴図」屏風
- ・狩野山雪筆「歴聖大儒像」六幅
- ・孔子椅像 等身大石膏像
- ・狩野元信「四季花鳥図屏風」原寸大復元制作



2015年4月3日(金)～12日(日) 9:00～17:00

入場無料

主催／筑波大学 会場／第1会場:筑波大学 附属図書館 1階貴重書展示室／第2会場:筑波大学 大学会館 アートスペース(4月29日まで開催)

【問い合わせ先】筑波大学広報室 TEL: 029-853-2039 Email: kohositu@un.tsukuba.ac.jp URL: <http://www.tsukuba.ac.jp/event/e20150309I000.html>